

# 奄美大島・喜界島農業の動き

## ■令和6年2月

### 1 奄美たんかんの収穫シーズン到来！

2月1日、宇検村のたんかん園において、JAあまみ大島事業本部主催による令和5年度産の「奄美たんかんハサミ入れ式」が開催されました。

今期のたんかんは秋季以降の日照時間が長く、寒暖差があったため、糖度は非常に高い状況でした。生産量は前年より低下する見通しですが、共販と委託を合わせ、選果場の取扱量は前年と同程度の約250トンを見込んでいます。

これから本格的な収穫シーズンを迎えるに当たって、品質を見ながら、適期に収穫するよう生産者へ呼びかけました。



奄美たんかんハサミ入れ式①



奄美たんかんハサミ入れ式②

### 2 奄美群島たんかん品評会、今年も多数の出品で盛大に開催！

2月8日から9日に、奄美群島農政推進協議会主催で令和5年度奄美群島たんかん品評会審査会並びに展示会が開催されました。

今期は秋季の気候に恵まれ、例年以上の品質の果実が出揃い、しのぎを削ることとなりました。奄美大島・喜界島・徳之島から合計49点の出品があり、L・2L部門それぞれの上位各3点を含む計8点を表彰しました。

展示会には、受賞を喜ぶ生産者や沖縄県の柑橘関係者も足を運ぶなど盛況をみせました。出品者には審査結果の個別処方箋を渡し、産地育成の一助としたいです。



たんかん品評会外観審査風景



たんかん品評会内容審査風景



たんかん品評会作品展示会場

### 3 奄美フェアでの『奄美たんかん』販売にできた長蛇の列！

2月10日に、奄美フェアが鹿児島市のおいどん市場与次郎館で開催されました。

奄美たんかんのブースには、開場3時間前から熱心なファンが並び始め、開始時刻には長蛇の列を成す盛況ぶりでした。箱入りの贈答用から袋入りの自家消費用まで幅広く用意した3tもの商品はほぼ完売し、奄美たんかんの人気を再認識する機会となりました。

各市町単位での兵庫県や神奈川県での即売会も予定されており、奄美たんかんの名声が全国に轟くように、産地強化に努めていきたいです。



奄美たんかん販売会①



奄美たんかん販売会②

#### 4 新規就農者の確保育成に向けた先進事例調査

1月30から31日に、大島地区農業改良普及事業協議会（事務局：農政普及課）主催による新規就農者の確保・育成の先進事例調査を宮崎県で実施しました。

同県西都市、新富町及び川南町の1市2町は、行政とJA及び地域の生産部会が一体となり、就農希望者が地域とのつながりを深めながら技術習得ができる研修体制を構築し、新規就農者の確保・育成に繋げていました。

管内の新規就農者の確保・育成に向け強化すべき取組を関係機関・団体と共有することで、新たな活動展開を図りたいです。



新規就農者確保育成先進事例調査①



新規就農者確保育成先進事例調査②

#### 5 子牛の飼養管理技術現地検討会を開催！

2月8日に、喜界町の新規就農者牛舎で子牛の飼養管理技術現地検討会を開催しました。

新規就農者をはじめ、経験の浅い農家、指導農業士等11名が出席しました。現地検討会では新規就農者が自らの経営概要や子牛発育調査の取組、課題等を説明しました。出席者は各々が取り組んでいる事例を共有し活発な意見交換を行いました。

指導農業士から「今の飼養管理を継続し、日々の観察を怠らないように」と助言があり、農政普及課では今後も飼養管理技術向上に向けて支援を行っていく予定です。



子牛の飼養管理技術現地検討会